

公益社団法人 全国大学体育連合主催

第1回 するみるささえるスポーツ教育研究会 抄録

開催日：2017年6月24日(土) 13時半～16時半(受付開始13時)

会場：日本大学理工学部 御茶ノ水校舎(駿河台) 123教室

大学生の「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の割合

難波 秀行(日本大学)

スポーツの発展には「する」スポーツのみならず「みる」、「ささえる」スポーツへの関与も欠かすことはできない。全国大学体育連合が2016年に行った調査では、大学・短大16校の学生5,861人(男性:3,326人、女性:2,535人)から回答を得た。運動習慣がある者(週2回以上、かつ6ヶ月以上継続)は男性では42.0%(1,398人)、女性では21.3%(540人)であった。過去1年にスポーツ観戦した者は78.1%(4,575人)であり、指導、審判、運営や世話などに関わった経験があったものは42.1%(2,465人)であった。

スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を読み解く

小林 勝法(文教大学)

本調査(2016年11月実施)は、政府が1957年以来、数年ごとに行ってきた「体力・スポーツに関する世論調査」の調査項目に加え、「この1年間に初めて実施した・再開した運動・スポーツ」や「運動・スポーツにかかる費用」「スポーツ観戦」なども調査している。有効回答数も3千人から2万人へと大幅に増えた。この調査結果の中から、大学生のレディネスや実施状況など、授業や学生指導に関する事項を抽出し、それをもとに討論する。

身体活動量記録アプリの活用

難波 秀行(日本大学)

身体活動基準2013では、18～64歳において強度が3メッツ以上の身体活動を23メッツ・時/週行うことが望ましいことを示している。しかし、実際の身体活動がどの程度行われているのかを把握する機会を持つことは難しい。私はこれまでに行動記録法に基づく身体活動記録アプリを開発し、その妥当性を確認し多人数のデータを収集し分析結果を報告してきた。本研究会において、大学体育関連の授業において、この身体活動記録アプリの活用の可能性について検討したい。

ベースボール型授業のティーチングティップス

北 徹朗(武蔵野美術大学)

小中高等学校での体育授業におけるボール運動は「ベースボール型」、「ゴール型」、「ネット型」、「ターゲット型」に分類される(文部科学省)。中でも「ベースボール型」は多くの大学体育でも実施される小学校から大学の学校期をまたぐ教材である。北ら(2010)の調査では、教養体育としてソフトボールが採り入れられている大学は延べ約280に及んでいる。大学初年次生を中心に、発表者が実践してきた教授技法(マイクロスキル)について話題提供を行う。